

丸和産業株式会社

体験型カーレジャーパークの運営

本事業は普段車に触れる機会が少ない子どもや女性、若年層を対象に「体験型カーレジャーパーク」の運営を行う。ルール下でサーキットを走行し、楽しみながら車の構造や緊急時対処法を学んでもらうものである。機械設備の運用試験、車両の稼働試験をクリア。体験する子どもたちのために安全性を高める改善を行った。

事業の背景・目的

<事業背景1>

若者の車離れが進み、未熟な運転が事故や渋滞を起こす危険性を高め、社会経済上の損失をもたらしている。また、技術革新により、基本的な「動く、曲がる、止まる」などの動作も機械による制御がなされ、基本的なメカニズムの理解が希薄になっている。自動車産業事業者として、これらは看過できない問題と捉えている。

<事業背景2>

当社の2つのサーキットの利用時間帯は、平日の一部と、休日である。プロレーサーは主に平日に利用しているが、毎日走行するわけではない。カーマニアは成人男性が多く、休日の利用となるが、毎休日が全て埋まっているわけではない。施設の有効活用で稼働率を上げ、経営基盤を安定させたい。また、利用層の高齢化が進み、顧客層を広げる必要がある。

<事業背景3>

免許の所持率、車の保有率が低かったころ、特殊な人が特殊な場所で競技を行う閉鎖的な空間がサーキットであった。現在、車は全く特殊性のない時代であるにも関わらず、サーキットは一部のマニアの方たちのための施設となっている。この閉鎖性を打破し「車離れ」した若年層などの利用によって施設の稼働率をあげたい。

事業の内容と成果

当社が運営する「丸和オートランド那須」は、未舗装の「ダートコース」を走行できることが特徴である。M3ジャパン株式会社が運営する「ドライビングパレット那須」が隣接し、こちらは舗装道路のサーキットで、楽しみながら運転技術を鍛えることができる。

2つのサーキットで、子ども・若

年層・女性を主な対象に、車を自由に走行し、併せてメンテナンスを行う「体験型カーレジャーパーク」を一体として展開させる事業



写真1.「丸和オートランド那須」ダートコースの一部



写真2.「ドライビングパレット那須」コースの一部

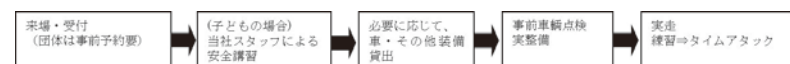


図1.「カーレジャーパーク」利用の流れ

たいと考えている。

※両サーキットは私道であり、子どもやペーパードライバー、若年層や女性でも、ルールの下、自由でのびのびとした走行が可能。

「カーレジャーパーク」利用の流れは図1のような想定である。

利用者のレベルに応じて、「団体」「ノンライセンス」「ライセンス」「ファミリー」などの各種メニューを準備する。

新規導入した機器を用いて整備作業の「見える化」に当たり、機

器の使用感、作業動作の所要時間、作業の安全性などを確認するため、機器の運用試験を行った。結果は良好であった。さらに、当社整備スタッフが、新規設備を用いて各種作業の工程を確認した。

稼動試験で得た結果をフィードバックし、「体験させる作業」と「見せる作業」の選別をした。安全面を配慮しながら、基本的には体験させる作業項目となるようにメニュー化。問題点の改善を行い、安全性・体感性を高めた。こ

れらをもとに報告書・マニュアルを作成、スタッフ研修を行った。



写真3.門型リフト／下回り増締め作業



写真4.タイヤチェンジャー／タイヤ組み換え作業

今後の展望

(1)顧客のメリット

利用するお客様は、ルールに則して、公道では味わえない自由でダイナミックな運転を経験でき、公道上での無謀な走行の防止となる。整備を体験することで、違法な改造や安全整備の知識と技術を理解できる。新たな趣味を見つけられる可能性もある。

(2)業界・地域・社会のメリット

車好きを増やし、自動車関連産業全体の発展に貢献できる。地域内での事故の抑制となる一方、那

須地区の新たなレジャースポットとして、新たに人を呼び寄せることができる。また、若者が運転に熟練する場を確保し、事故や渋滞などの社会的損失を防止できる。

(3)当社のメリット

子どもが幼いころから運転に親しむことで、自動車関連産業全体の発展につながり、ひいては、当社の事業発展・拡大につながる。若者という新規顧客を開拓し、顧客基盤を拡充する。他社類似事業からみて新規性・優位性のある本事業により、業界の競争を生き残り、収益基盤を強化する。

(4)市場のニーズについて

実際に開催してきたイベントを通して多くの賛同を得た。本事業は「遊び」と「学習」を同時達成できるプランであり、各回の反響からも必要なサービスであると確信している。

(5)補助事業が寄与する市場

ポストユーザーである子どもたちが「車」に興味を持つことで、自動車関連業界すべてに貢献する事業である。また、ほとんどのサーキットで応用が可能で、地域ごとの需要を喚起できるビジネスモデルでもある。

DATA

丸和産業株式会社

所在地 〒325-0107 栃木県那須塩原市高林259-1
 実施場所 【ドライビングパレット那須】
 〒325-0107 栃木県那須塩原市高林307-17
 TEL 0287-68-0345
 FAX 0287-68-0309
 URL <http://www.man-m3.com/>
 E-mail m3japan@man-m3.com
 代表者名 坂本 光弘
 設立年 1978年
 資本金額 1,000万円
 従業員数 5名

事業内容

- ダートレーシングサーキット「丸和オートランド那須」運営
- イベント主催
全日本ダートトライアル選手権、丸和カップシリーズ